

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高等学校（定時制の課程）給食運営事業			事業番号	038-088
担当部署名	教育委員会事務	局	学校管理	部	学校給食 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
	無		現状値	—	目標値	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画		有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		無	取組	—	—	—	—
有・無	指標名	—	—	—	—	—	
無	現状値	—	目標値	—	—	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	昭和 32 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市立堺高等学校（定時制）の生徒103人（R4.5.1時点）	対象数	単位
			103	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	定時制高等学校で学ぶ生徒の健康保持と修学支援のため		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	定時制高等学校において、夜食として牛乳とパンの補食給食を無償で提供する。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	—		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度
11 アンケート調査による満足度	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	88	88		
		達成率	88%	88%		
当該指標を選定した理由		修学支援という目的への貢献度を、生徒の満足度の観点から図るため。				
目標値の設定根拠・算出方法		補食給食のパンの内容（味）に満足している人の割合				
12 活動指標(成果を上げるための手段) 給食実施日数	日	実績	実績		目標	
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		目標値	—	156	155	
		実績値	149	153		
達成率	—	98%				
当該指標を選定した理由		事業の活動状況を端的に表すため。				
目標値の設定根拠・算出方法		給食実施予定日を設定				

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	高等学校（定時制の課程）給食運営事業	事業番号	038-088
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	546	515	1,290	625	903	
13 財源内訳	国支出金	5	0		0	
	府支出金		0		0	
	市債		0		0	
	その他（物品売払収入）	9	13	15	0	14
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	532	502	1,275	625	889
14 人件費 (b)	820	820	820	820	810	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,366	1,335	2,110	1,445	1,713	

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	パン・牛乳食糧費	R4 決算	625	625		R4	決算	
		R5 予算	903	889		R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	
		R4 決算				R4	決算	
		R5 予算				R5	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① 給食実施日	149
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,335	1,445
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	8,960	9,444
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	アンケート調査による満足度は88%であり、横ばいである。なお、発注数量を精査することにより経費削減に努めており、費用対効果としてはおおむね評価できるものである。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、「夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律」に基づき、夜間課程において行う教育を受ける生徒に対し実施しており、補食給食を無償で提供していることは、夜間課程の限られた時間の中で、生徒間に差が生じることなく、生徒が空腹を満たすことができ、修学支援に一定の効果을上げている。また、一同に食することで生徒間や教職員とのよいコミュニケーションの場となっている。
----	---